

ずっと明日が続くように。

誰も踏み込まない、

でも誰かがやらなきゃいけない問題に、

責任を持って

取り組まなければならない。

時代の流れを読み、

現場と向き合い、

地球と向き合いながら、

取り組まなければならない。

それこそが、環境省の使命。

環境省は進化し続ける。